

# 県勢主要統計指標

第 3 9 6 号

平成 2 9 年（2 0 1 7 年）4 月

大分県企画振興部統計調査課

# 今月の概要

## 1 大分県の推計人口(平成29年3月1日現在)

県人口	1,156,503人	(対前月 919人減少)
前1ヵ月間の自然動態	620人減少	(出生者数 654人、死亡者数 1,274人)
社会動態	299人減少	(転入者数 2,311人、転出者数 2,610人)

## 2 県内経済の動向

### 2-1 主要経済指標の動向

- 1 鉱工業指数 平成29年2月の鉱工業生産指数(季節調整済指数、平成22年=100)は98.2(前月比+2.1%)となり、3か月ぶりに上昇した。
- 2 消費者物価 平成29年2月の大分市消費者物価指数(平成27年=100)は99.8となり、前月に比べ0.1%下落した。
- 3 大型小売店販売額 平成29年2月の大型小売店販売額は78億87百万円で、前年同月に比べ全店ベースで▲4.3%と3か月連続の減少、既存店ベースで▲4.3%と3か月連続の減少となった。
- 4 外国貿易 平成29年2月の輸出額は623億58百万円(前年同月比+18.4%)で5か月連続の増加、輸入額は826億円35百万円(同▲8.9%)で2か月ぶりのマイナスとなった。
- 5 公共工事 平成29年3月の県内公共工事請負金額は205億99百万円で、前年同月に比べて+82.6%と7か月連続で増加した。
- 6 新設住宅着工 平成29年2月の新設住宅着工戸数は460戸で、前年度同月比+2.7%と3か月連続で増加した。内訳では持家が増加した。
- 7 企業倒産 平成29年3月の県内企業倒産は、件数が3件(前年同月比▲40.0%)、負債総額が1,132百万円(同+112.8%)となった。
- 8 職業紹介 平成29年2月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月を0.03ポイント下回り、1.31倍となった。

### 2-2 景気動向指数(DI)(平成29年2月分)

先行指数	20.0%	(8か月ぶりに50%を下回った)
一致指数	71.4%	(4か月連続して50%を上回った)
遅行指数	100.0%	(2か月連続して50%を上回った)

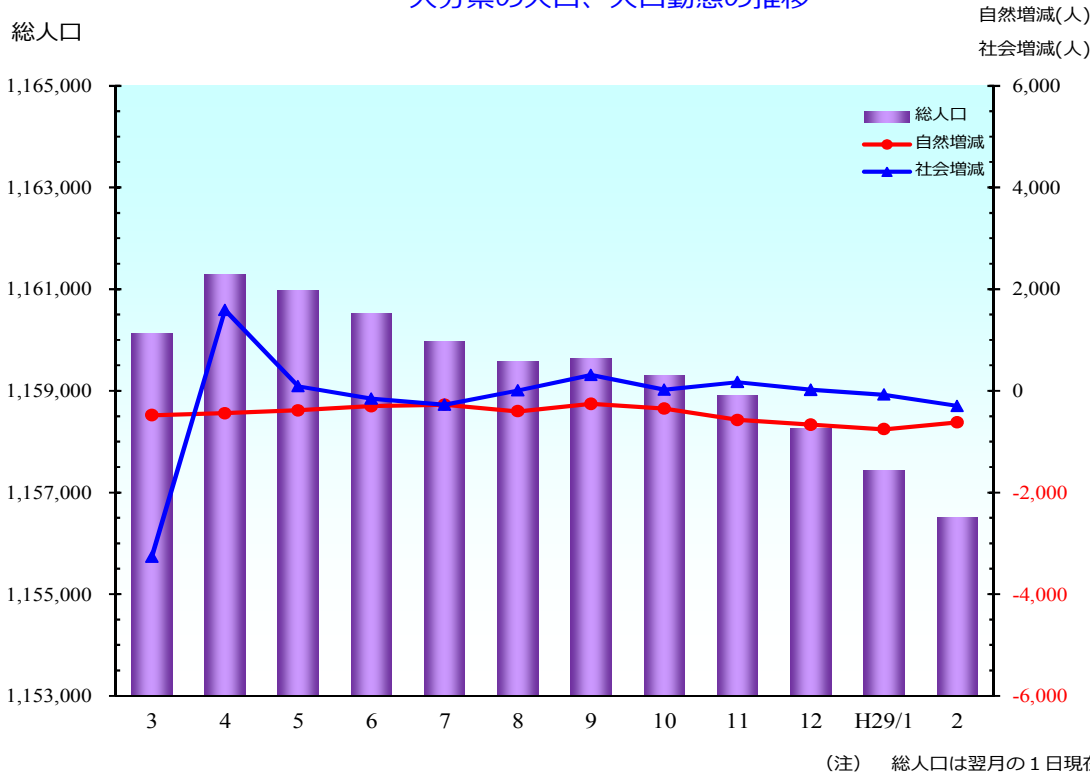
## 指標一覧・目次

番号	指標名	大分県	全国	頁
1	大分県の推計人口	(平成 29 年 3 月 1 日現在) 1,156,503 人 (前月比 ▲919 人 ▲0.08%) (前年同月比 ▲7372 人 ▲0.63%)	(平成 29 年 3 月 1 日現在) 1 億 2,676 万人 (前月比 ▲7 万人 ▲0.06%) (前年同月比 ▲19 万人 ▲0.15%)	1
2-1-1	鉱工業指数	(平成 29 年 2 月) 生産指数(季節調整済指数)98.2 (前月比 +2.1%) (原指数 前年同月比 ▲3.3%)	(平成 29 年 2 月) 生産指数(季節調整済指数)101.7 (前月比 +3.2%) (原指数 前年同月比 +4.7%)	2
2-1-2	消費者物価	大分市(平成 29 年 2 月) 総合指数 99.8 (前月比 ▲0.1%) (前年同月比 ±0.0%)	(平成 29 年 2 月) 総合指数 99.8 (前月比 ▲0.1%) (前年同月比 +0.3%)	3
2-1-3	大型小売店販売額	(平成 29 年 2 月) 総額 7,887 百万円 (前年同月比 (全店) ▲4.3%) (前年同月比 (既存店) ▲4.3%)	(平成 29 年 2 月) 総額 1,149,328 百万円 (前年同月比 (全店) ▲2.6%) (前年同月比 (既存店) ▲2.7%)	4
2-1-4	外国貿易	(平成 29 年 2 月) 輸出総額 62,358 百万円 (前年同月比 +18.4%) 輸入総額 82,635 百万円 (前年同月比 ▲8.9%)	(平成 29 年 2 月) 輸出総額 6,347,483 百万円 (前年同月比 +11.3%) 輸入総額 5,533,937 百万円 (前年同月比 +1.2%)	5
2-1-5	公共工事	(平成 29 年 3 月) 総額 20,599 百万円 (前年度同月比 +82.6%) (前年度同期比 +2.8%)	(平成 29 年 3 月) 総額 1,485,877 百万円 (前年度同月比 +10.9%) (前年度同期比 +4.1%)	6
2-1-6	新設住宅着工	(平成 29 年 2 月) 着工戸数 460 戸 (前年度同月比 +2.7%) (前年度同期比 +2.5%)	(平成 29 年 2 月) 着工戸数 70,912 戸 (前年度同月比 ▲2.6%) (前年度同期比 +6.4%)	7
2-1-7	企業倒産	(平成 29 年 3 月) 件数 3 件 (前年同月比 ▲40.0%) 負債総額 1,132 百万円 (+112.8%)	(平成 29 年 3 月) 件数 786 件(前年同月比+5.3%) 負債総額 1,668 億円 (同▲5.1%)	8
2-1-8	職業紹介	(平成 29 年 2 月) 有効求人倍率 1.31 倍 (前月差 ▲ 0.03 ポイント) (前年同月差 +0.22 ポイント)	(平成 29 年 2 月) 有効求人倍率 1.43 倍 (前月差 ±0.00 ポイント) (前年同月差 +0.14 ポイント)	9
2-2	景気動向指数 (D I)	(平成 29 年 2 月) 一致指数 71.4% 4 か月連続して 50%を上回った	(平成 29 年 2 月) 一致指数 62.5% 7 か月連続して 50%を上回った	11

# 1 大分県の推計人口

平成 29 年 3 月 1 日現在の本県の推計総人口は 1,156,503 人で、前月に比べ 919 人減少した。前月との増減要因をみると、自然動態で 620 人の減少、社会動態で 299 人の減少となっている。

大分県の人口、人口動態の推移



単位：人、世帯

毎月	総人口	1ヵ月間の人口動態							世帯数
		人口増減	自然動態			社会動態			
			出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
H28/2	1,163,875	-607	780	1,236	-456	2,403	2,554	-151	486,089
3	1,160,132	-3,743	804	1,284	-480	7,414	10,677	-3,263	486,265
4	1,161,280	1,148	700	1,142	-442	6,380	4,790	1,590	488,320
5	1,160,983	-297	789	1,175	-386	2,672	2,583	89	488,611
6	1,160,524	-459	728	1,032	-304	2,233	2,388	-155	488,779
7	1,159,975	-549	766	1,041	-275	2,354	2,628	-274	488,654
8	1,159,579	-396	824	1,227	-403	2,829	2,822	7	488,732
9	1,159,634	55	782	1,039	-257	2,893	2,581	312	489,265
10	1,159,306	-328	799	1,150	-351	2,155	2,132	23	489,283
11	1,158,902	-404	705	1,280	-575	2,123	1,952	171	489,294
12	1,158,254	-648	681	1,349	-668	2,154	2,134	20	489,163
H29/1	1,157,422	-832	718	1,475	-757	2,062	2,137	-75	488,919
2	1,156,503	-919	654	1,274	-620	2,311	2,610	-299	488,664
この1年間の計		-7,372	8,950	14,468	-5,518	37,580	39,434	-1,854	—

(注) 総人口は翌月の1日現在

資料：県統計調査課「大分県の人口推計結果【月報】平成 29 年 2 月分」

## 2-1-1 鋳工業指数

平成 29 年 2 月の大分県鋳工業生産指数（季節調整済指数）は 98.2（前月比+2.1%）となり、3 か月ぶりに上昇した。前月に比べ上昇した業種は「輸送機械工業」、「パルプ・紙・紙加工品工業」、「電子部品・デバイス工業」等の 10 業種で、低下した業種は「食料品工業」、「プラスチック製品工業」、「はん用・生産用・業務用機械工業」等の 4 業種となっている。

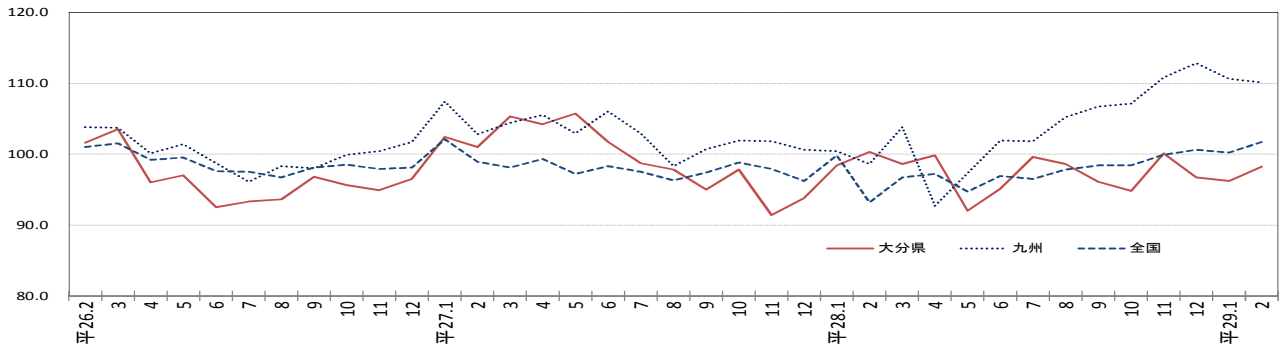
平成 22 年=100

区 分	季 節 調 整 済 指 数	前 月 比		原 指 数	前 年 同 月 比 (%)
		指 数	(%)		
大 分 県	生 産	98.2	2.1	92.5	▲ 3.3
	出 荷	90.8	▲ 2.0	88.4	▲ 6.3
	在 庫	89.1	0.8	90.0	▲ 6.1
全 国	生 産	101.7	3.2	98.9	4.7
	出 荷	99.2	1.4	97.5	3.7
	在 庫	108.1	0.7	109.3	▲ 3.9
九 州	生 産	110.1	▲ 0.1	105.4	7.0
	出 荷	110.1	▲ 2.6	107.1	4.2
	在 庫	111.7	0.0	112.6	▲ 7.9

※九州は速報値 資料：経済産業省「鋳工業生産・出荷・在庫指数確報」、県統計調査課

鋳工業生産指数(季節調整済指数)の推移

平成22年=100

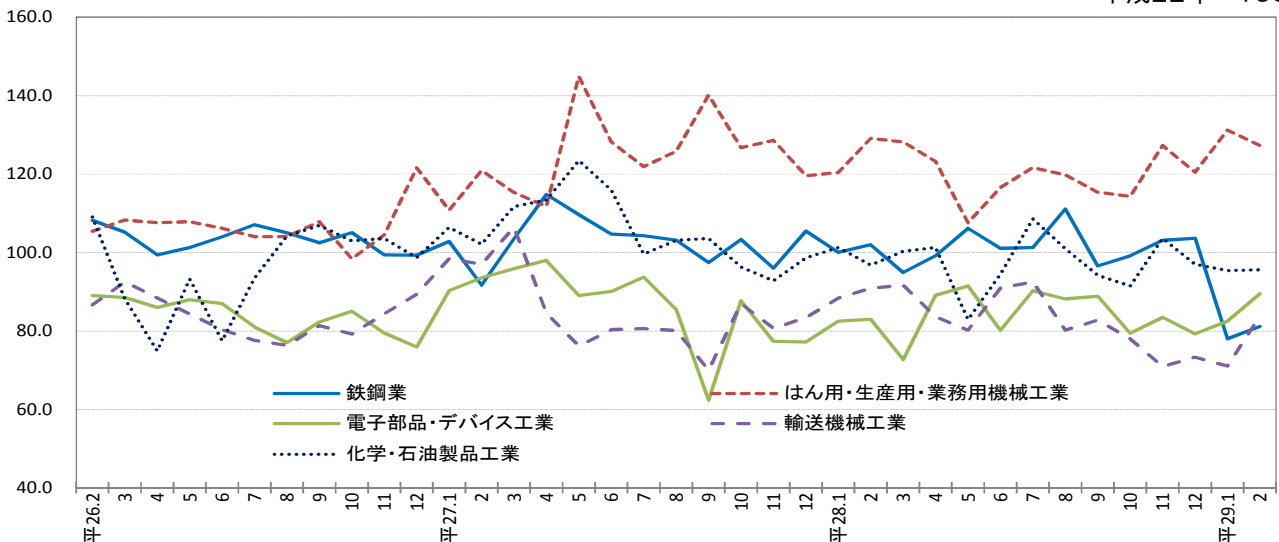


### ○業種別動向（生産指数）

上昇業種			低下業種		
業種名	前月比(%)	寄与率(%)	業種名	前月比(%)	寄与率(%)
輸送機械工業	17.9	49.1	食料品工業	▲12.1	▲54.0
パルプ・紙・紙加工品工業	12.0	7.6	プラスチック製品工業	▲4.2	▲12.7
電子部品・デバイス工業	8.1	39.3	はん用・生産用・業務用機械工業	▲3.0	▲32.3

大分県内主要業種の生産指数(季節調整済指数)の推移

平成22年=100



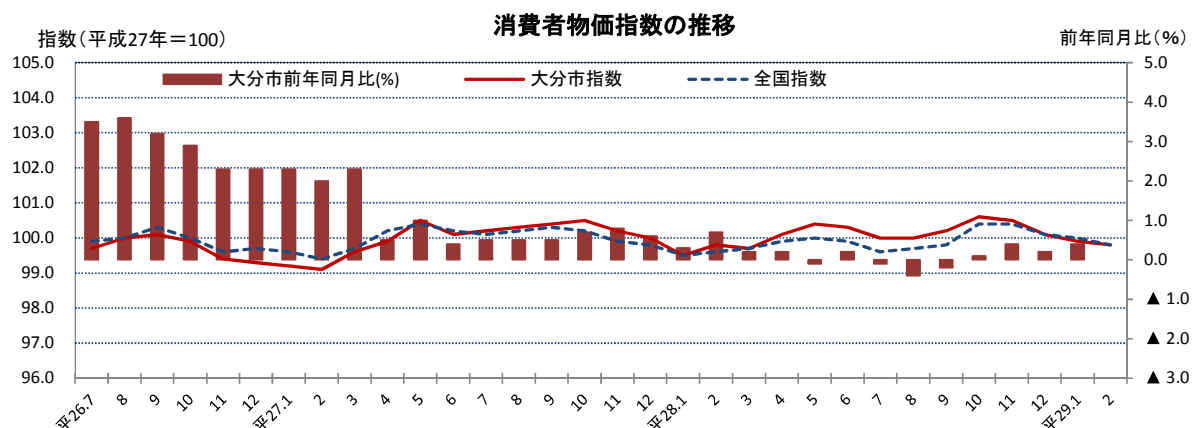
## 2-1-2 消費者物価

平成29年2月の大分市消費者物価指数は、平成27年を100としたとき99.8となり、前月に比べ0.1%下落した。これを10大費目別にみると、「家具・家事用品」が家庭用耐久財の値上がりなどにより3.4%上昇したこと、「食料」が果物の値下がりなどにより1.0%下落したことなどによる。

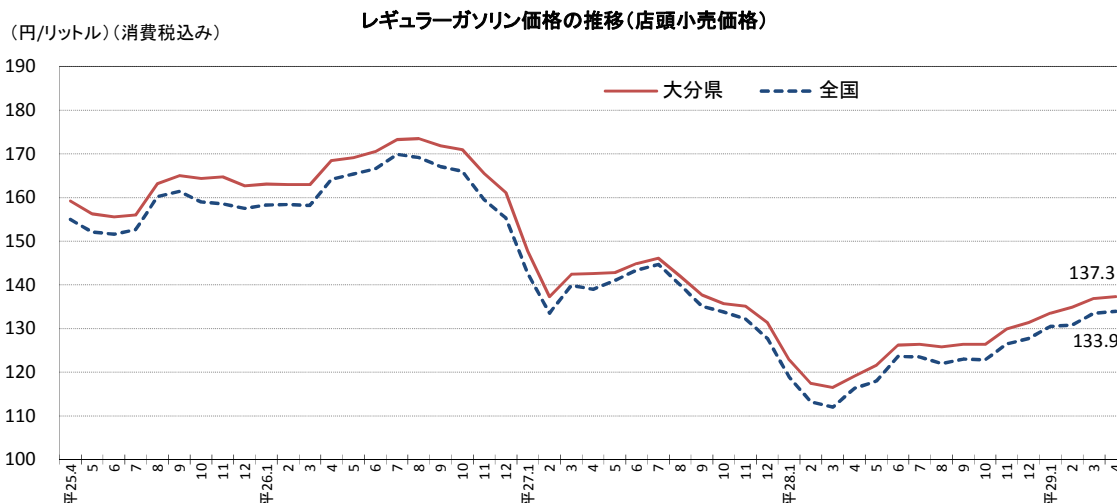
(平成27年=100)

費目	大分市				全国		
	ウェイト	平成29年2月指数	前月比(%)	前年同月比(%)	平成29年2月指数	前月比(%)	前年同月比(%)
総合	10,000	99.8	▲0.1	0.0	99.8	▲0.1	0.3
生鮮食品を除く総合	9,617	99.7	0.1	0.2	99.6	0.0	0.2
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	8,828	100.1	0.0	▲0.1	100.3	0.0	0.1
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6,703	99.8	0.1	▲0.4	99.8	▲0.1	▲0.1
食料	2,625	101.2	▲1.0	▲0.2	102.2	▲0.4	0.8
生鮮食品	383	101.5	▲4.0	▲4.8	105.7	▲2.9	1.4
住居	1,896	100.6	0.0	▲0.2	99.7	0.0	▲0.2
光熱・水道	703	95.4	0.4	▲1.6	93.0	0.6	▲2.1
家具・家事用品	355	101.4	3.4	0.6	100.2	0.1	0.6
被服及び履物	412	94.9	▲0.8	▲1.8	99.4	0.6	1.3
保健医療	379	100.2	▲0.3	▲0.1	100.7	0.0	0.6
交通・通信	1,772	98.0	0.1	0.5	97.9	▲0.5	0.3
教育	238	103.0	0.0	2.2	101.9	0.1	1.0
教養娯楽	961	100.7	0.4	0.9	100.3	0.0	0.4
諸雑費	659	100.5	▲0.1	0.5	100.5	▲0.2	0.3

資料：総務省「消費者物価指数月報」、県統計調査課



参考：レギュラーガソリン価格の推移（店頭現金価格（消費税込み））



## 2-1-3 大型小売店販売額

平成 29 年 2 月の県内大型小売店販売額は 78 億 87 百万円、前年同月比は全店ベースで▲4.3%と 3 か月連続の減少、既存店ベースで▲4.3%と 3 か月連続の減少となった。

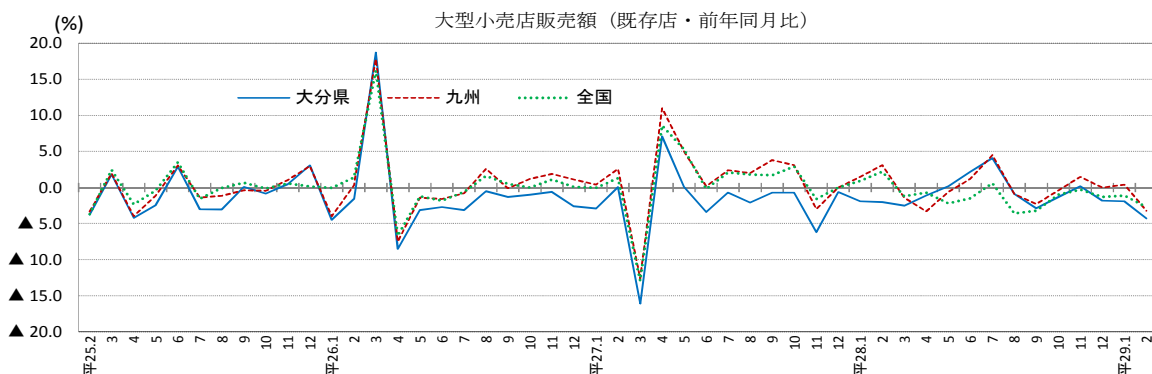
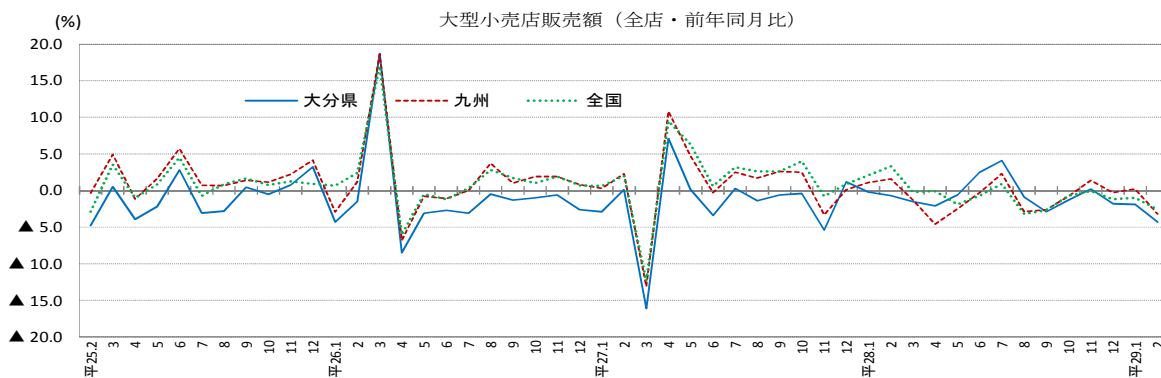
地域別 商品別	大分県			全国		
	百貨店	スーパー	計	百貨店	スーパー	計
	3 店	28 店	31 店	238 店	4,843 店	5,081 店
	販売額 (百万円)	前年同月比 (%)		販売額 (百万円)	前年同月比 (%)	
全 店		既存店	全 店		既存店	
総額	7,887	▲4.3	▲4.3	1,449,328	▲2.6	▲2.7
衣 料 品	2,289	▲5.2	▲5.2	270,842	▲5.7	▲4.6
飲 食 料 品	4,186	▲4.9	▲4.9	885,828	▲1.7	▲2.3
そ の 他	1,412	▲0.5	▲0.5	292,658	▲2.4	▲2.0

資料：経済産業省「商業動態統計」（平成 29 年 2 月分確報）

注 1：「百貨店」は、注 2 の「スーパー」を除き、売り場面積が特別区及び政令指定都市では 3,000 m<sup>2</sup>以上、その他の地域では 1,500 m<sup>2</sup>以上

注 2：「スーパー」は、売り場面積の 50%以上でセルフサービス方式、かつ売り場面積が 1,500 m<sup>2</sup>以上

注 3：「その他」は、家具、家電、家庭用品、食堂・喫茶など



### ○参考 コンビニエンスストアの動向（全店）（平成 29 年 2 月）

	大分県	九州	全国
店舗数	483	5,908	56,261
(前年同月比) (%)	1.5	1.8	1.9
商品販売額及びサービス売上高 (百万円)	7,185	92,036	854,152
(前年同月比) (%)	1.3	2.1	0.8

資料：経済産業省「商業動態統計」、九州経済産業局「九州コンビニエンス・ストア販売動向」（平成 29 年 2 月分確報）

注：調査対象は一定規模以上のコンビニエンスストアのチェーン企業本部。平成 25 年 1 月分から平成 28 年 8 月分までは「九州」には沖縄を含まない。平成 28 年 9 月分から沖縄を含む。平成 27 年 7 月分から既存店を廃止した。

## 2-1-4 外国貿易

平成 29 年 2 月の輸出額は 623 億 58 百万円（前年同月比+18.4%）で 5 か月連続のプラスとなった。鉄鋼、事務用機器、有機化合物などが増加した。輸入額は 826 億 35 百万円（同▲8.9%）で 2 か月ぶりのマイナスとなった。銅鉱、原油及び粗油、鉄鉱石などが減少した。

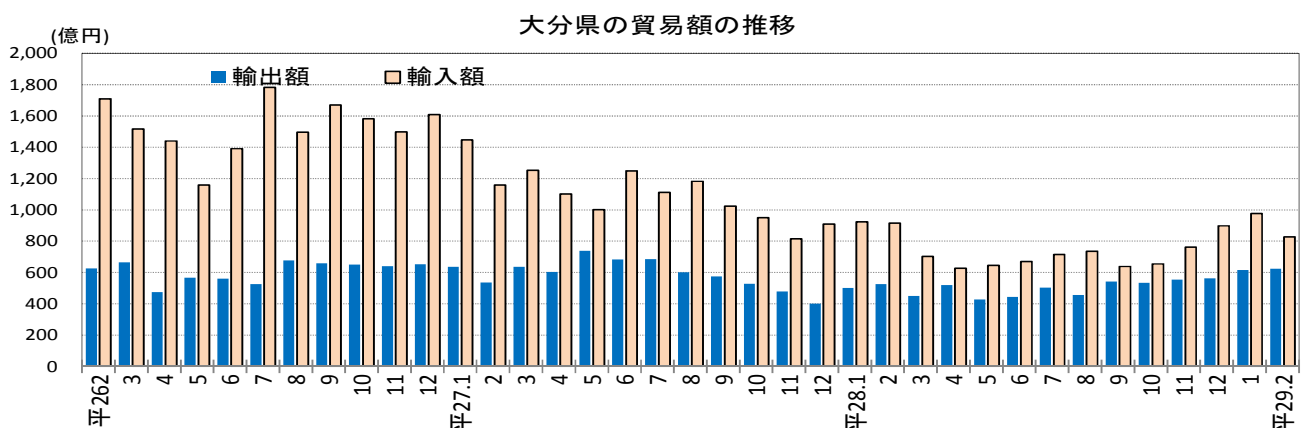
（2 月分速報）

（単位：百万円、%）

区分	輸 出				輸 入			
	主要品目等	29 年 2 月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比	主要品目等	29 年 2 月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比
大分県	総額	62,358	18.4	20.5	総額	82,635	▲8.9	▲2.0
大分港	有機化合物	9,153	35.3	21.7	鉄鉱石	11,663	▲14.6	▲12.1
	プラスチック	716	26.2	12.8	銅鉱	17,712	▲37.7	▲24.8
	鉄鋼	18,025	55.9	41.2	石炭	15,470	▲0.2	34.4
	銅及び同合金	10,530	12.6	▲9.8	原油及び粗油	6,878	▲22.8	4.8
	事務用機器	10,555	34.3	44.2	揮発油	10,762	46.1	1.0
	映像機器	3,200	76.1	57.2	液化石油ガス	3,328	111.6	▲6.7
	船舶類	2,534	▲42.7	21.9	液化天然ガス	10,864	10.7	▲1.5
	計	61,363	30.5	27.7	計	81,708	▲9.2	▲2.8
佐伯港	船舶類	—	—	58.3	石こう	—	—	▲10.6
	魚介類	20	1.2	▲60.6	植物性油かす	237	全増	全増
	木材	58	113.6	60.5	その他の調製食料品	—	—	全増
					魚介類	—	—	全増
					木材	—	—	全増
					船舶類	—	—	全減
	計	78	66.8	56.0	計	237	577.7	200.2
津久見港	船舶類	—	全減	▲59.5	石炭	524	▲28.5	15.6
	セメント	778	▲22.6	▲15.4	石油コークス	142	全増	▲58.5
	石灰石	132	61.1	40.3	アルコール飲料	24	30.2	▲34.7
	計	914	▲83.7	▲49.9	計	689	▲8.2	▲1.7
大分空港	再輸出品	3	▲10.2	▲10.2	通信機	—	—	—
					輸送用機器	—	—	▲0.7
					荷役機械	—	—	全増
	計	3	▲10.2	▲10.2	計	—	—	15.9
全国	総額	6,347,483	11.3	6.5	総額	5,533,937	1.2	5.1

資料：財務省「貿易統計（輸出確報；輸入速報）」、大分税関支署「管内貿易概況」（平成 29 年 2 月分）

注）「前年同期比」は、暦年（1～12 月）累計の比較（増減率）





## 2-1-5 公共工事

平成 29 年 3 月の県内公共工事請負金額は 205 億 99 百万円で、前年度同月に比べて 82.6%の増となり、7 か月連続で増加した。発注者別では、県が前年度同月比で 38.5%、市町村が同 77.4%、国が同 223.0%、独立行政法人が同 8233.3%増加し、その他の公共的団体が 11.0%減少した。

(単位:百万円、%)

項目 発注者	大 分 県				全 国			
	29年 3月	前年度 同月比	28年度 累 計	前年度 同期比	29年 3月	前年度 同月比	28年度 累 計	前年度 同期比
総 額	20,599	82.6	139,951	2.8	1,485,877	10.9	14,539,477	4.1
国	7,878	223.1	32,183	19.2	377,078	1.5	2,498,886	15.1
独立行政法人等	250	8,233.3	5,406	▲ 12.6	75,613	▲ 35.8	1,416,301	▲ 9.4
都道府県	9,999	38.5	58,029	16.7	538,927	6.2	4,476,911	8.5
市町村	2,067	77.4	41,835	▲ 7.0	401,907	45.7	5,059,113	▲ 2.3
その他の公共的団体	404	▲ 11.0	2,476	▲ 69.8	92,348	38.2	1,088,234	16.6

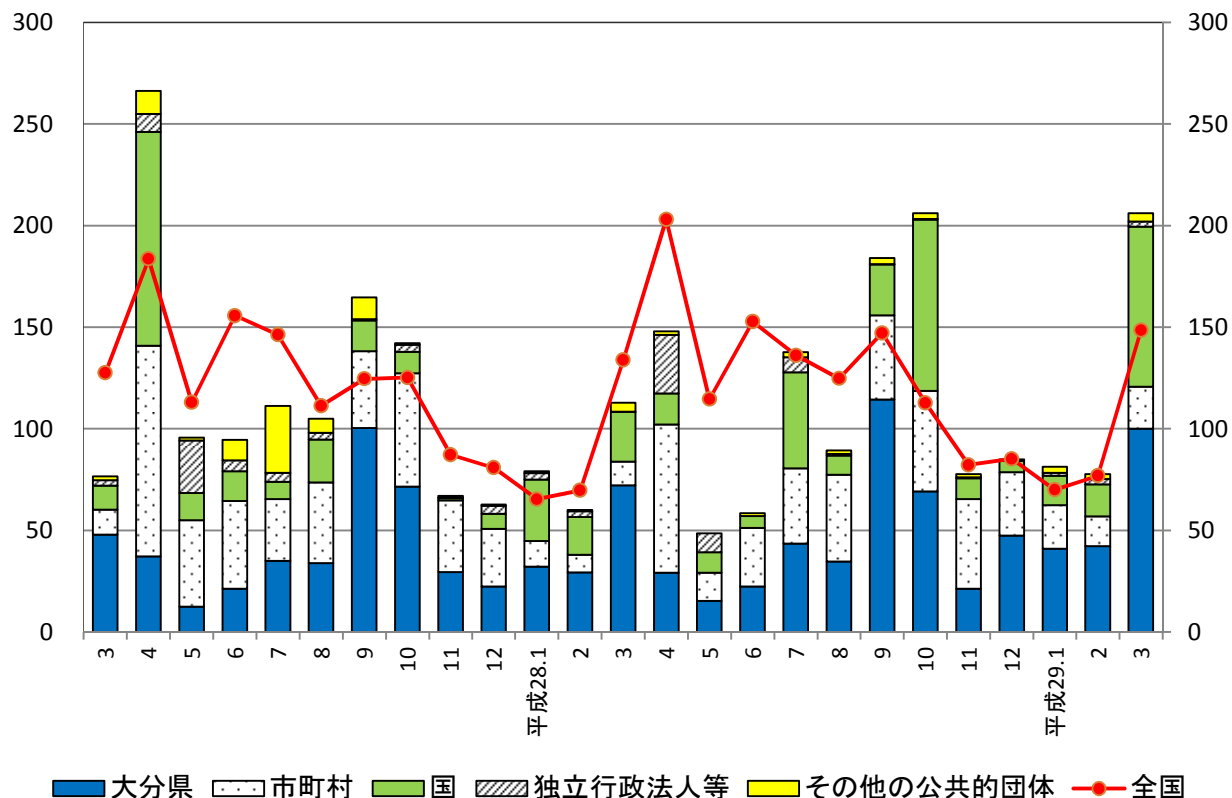
注 1: 「この統計は、公共工事の前払金保証を集計した業務統計であり、公共工事のほとんどをカバーしている。」(西日本建設業保証株)

注 2: 「独立行政法人等」には独立行政法人のほか、各高速道路(株)、国立大学法人、大学共同利用機関法人、特殊法人等を含む。

注 3: 「前年度同期比」は、年度(4月～翌年3月)累計の比較(増減率)

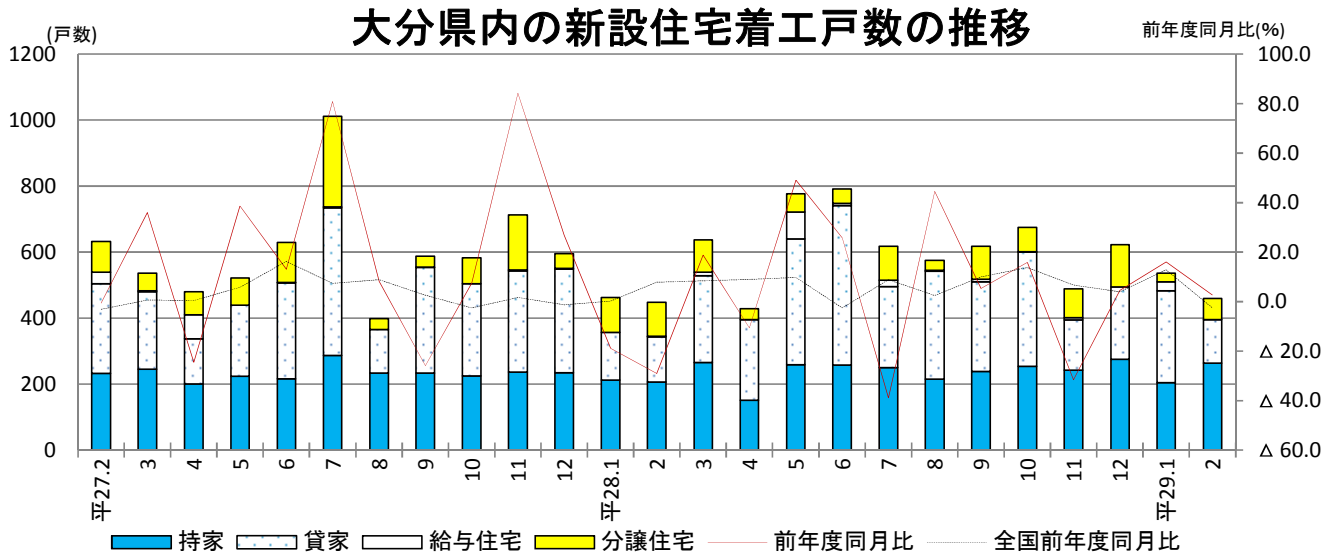
注 4: 「28年度累計」及び「前年度同期比」は、統計調査課で計算

大分県内の公共工事請負額の推移 全国(百億円)



## 2-1-6 新設住宅着工

平成29年2月の新設住宅着工戸数は460戸で、前年度同月に比べ+2.7%と3か月連続で増加した。内訳は、持家263戸(同+27.7%)、貸家132戸(同▲3.6%)、分譲住宅64戸(同▲38.5%)などであった。  
(単位：戸、%)



資料：国土交通省総合政策局「建築着工統計調査」、県建築住宅課  
注：「前年度同期比」は、年度（4月～翌年3月）累計の比較（増減率）

### ○ 市町村別新設住宅着工戸数（29年2月）

(単位：戸数)

	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	計
大分市	107	73	1	53	234
別府市	27	18	0	4	49
中津市	28	41	0	1	70
日田市	11	0	0	0	11
佐伯市	28	0	0	3	31
臼杵市	3	0	0	1	4
津久見市	2	0	0	0	2
竹田市	5	0	0	0	5
豊後高田市	4	0	0	0	4
杵築市	13	0	0	0	13
宇佐市	10	0	0	0	10
豊後大野市	2	0	0	0	2
由布市	9	0	0	0	9
国東市	3	0	0	0	3
姫島村	0	0	0	0	0
日出町	9	0	0	1	10
九重町	0	0	0	0	0
玖珠町	2	0	0	1	3
県計	263	132	1	64	460

資料：県建築住宅課

注：国土交通省と県建築住宅課発表の数値は、データ読み取り方法により異なる場合がある。

## 2-1-7 企業倒産

平成29年3月の県内企業倒産は、件数が3件（前年同月比▲40.0%）、負債総額は1,132百万円（同+112.8%）となった。業種別では、製造業1件、小売業1件、サービス・その他1件、原因別では、販売不振2件、その他1件であった。

### 大分県内企業倒産

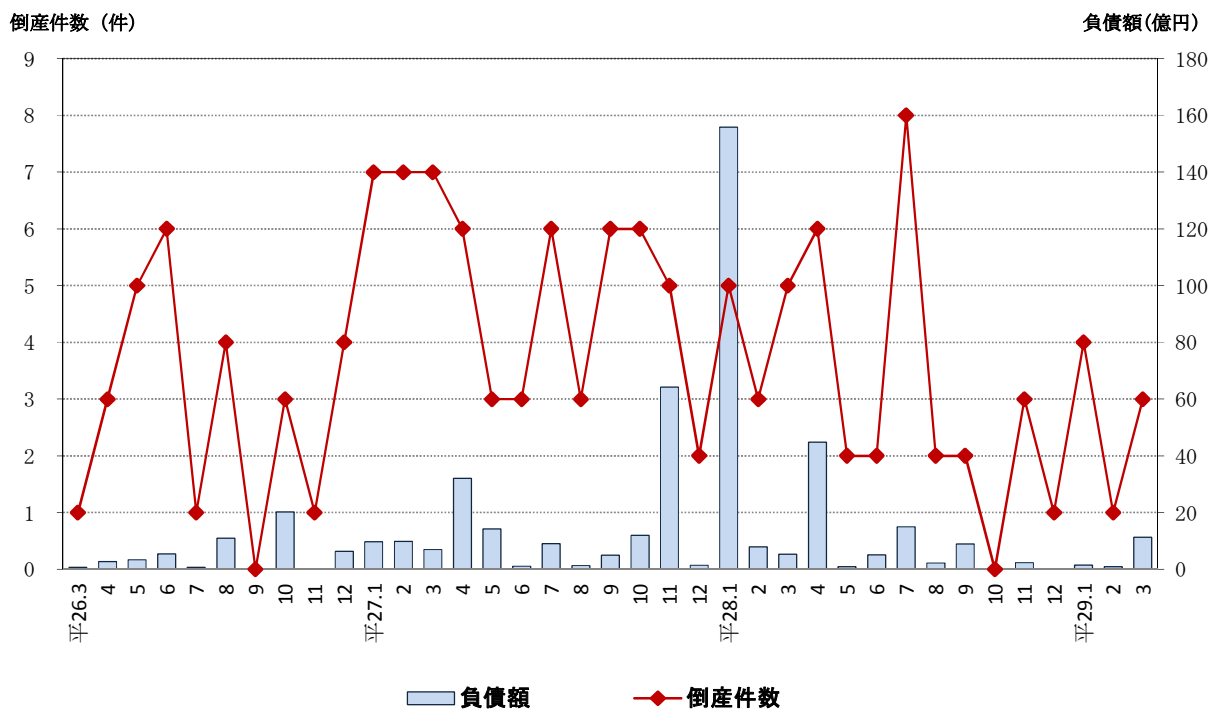
（単位：件、百万円、%）

	倒産 件数	負債 金額	1件当り 負債金額	原因別							
				放漫経営		販売不振		連鎖		その他	
				件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額
24	67	16,178	241	5	4,973	34	5,710	5	641	23	4,854
25	58	13,216	228	4	3,088	30	3,668	6	442	18	6,018
26	42	7,895	188	1	30	17	1,369	4	2,150	20	4,346
27	61	16,689	274	4	253	25	4,449	8	911	24	11,076
28	39	24,842	637	3	5,021	22	18,471	1	22	13	1,328
対前年比	▲36.1	48.9	132.8	▲25.0	1884.6	▲12.0	315.2	▲87.5	▲97.6	▲45.8	▲88.0
3	5	532	106	1	220	3	300	-	-	1	12
4	6	4,478	746	1	4,000	2	28	-	-	3	450
5	2	89	45	-	-	1	61	-	-	1	28
6	2	510	255	-	-	1	410	-	-	1	100
7	8	1,503	188	-	-	5	1,310	-	-	3	193
8	2	222	111	-	-	-	-	1	22	1	200
9	2	893	447	1	801	1	92	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	3	229	76	-	-	2	80	-	-	1	149
12	1	16	16	-	-	-	-	-	-	1	16
29/1	4	150	38	1	18	2	81	-	-	1	51
2	1	85	85	-	-	1	85	-	-	0	-
29/3	3	1132	377	-	-	2	1096	-	-	1	36
対前月比	200.0	1231.8	343.9	-	-	100.0	1189.4	-	-	-	-
対前年同月比	▲40.0	112.8	254.6	▲100.0	▲100.0	▲33.3	265.3	-	-	0.0	200.0

資料：東京商工リサーチ大分支店「大分県企業倒産状況」（負債総額1000万円以上）

注）「対前年比」、「対前月比」及び「対前年同月比」は増減率

### 大分県内企業倒産件数、負債額の推移



## 2-1-8 職業紹介

平成29年2月の有効求人倍率（季節調整値）は1.31倍で、前月を0.03ポイント下回った。正社員有効求人倍率（原数値）は0.99倍となり、前年同月を0.20ポイント上回った。

（単位：人、件、倍、%、ポイント）

			大分県			全国		
			29年2月	前月比(差)	前年同月比(差)	29年2月	前月比(差)	前年同月比(差)
一般 パートタイムを含む (新規学卒者を除き)	求職	新規求職申込件数	5,358	▲ 5.6	▲ 11.7	465,468	▲ 2.0	▲ 7.7
		月間有効求職者数	19,441	4.2	▲ 7.0	1,779,833	3.7	▲ 4.9
	求人	新規求人数	10,015	▲ 8.5	1.7	1,014,039	0.7	4.9
		月間有効求人数	27,545	4.5	12.4	2,724,603	5.1	5.9
	求人倍率	新規求人倍率	1.78	▲ 0.17	0.19	2.12	▲ 0.01	0.16
		有効求人倍率	1.31	▲ 0.03	0.22	1.43	0.00	0.14
	就職件数		2,339	26.4	▲ 3.8	149,816	26.0	▲ 2.8
正社員	常用フルタイム有効求職者数		12,602	3.2	▲ 8.4	1,180,523	4.9	▲ 6.5
	正社員新規求人数		4,435	▲ 9.0	8.1	409,690	▲ 4.0	6.5
	正社員有効求人数		12,415	3.2	14.0	1,150,956	3.7	6.4
	正社員有効求人倍率		0.99	0.01	0.20	0.97	▲ 0.02	0.11
	正社員就職件数		1,028	14.6	▲ 9.3	65,855	20.3	4.9

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局

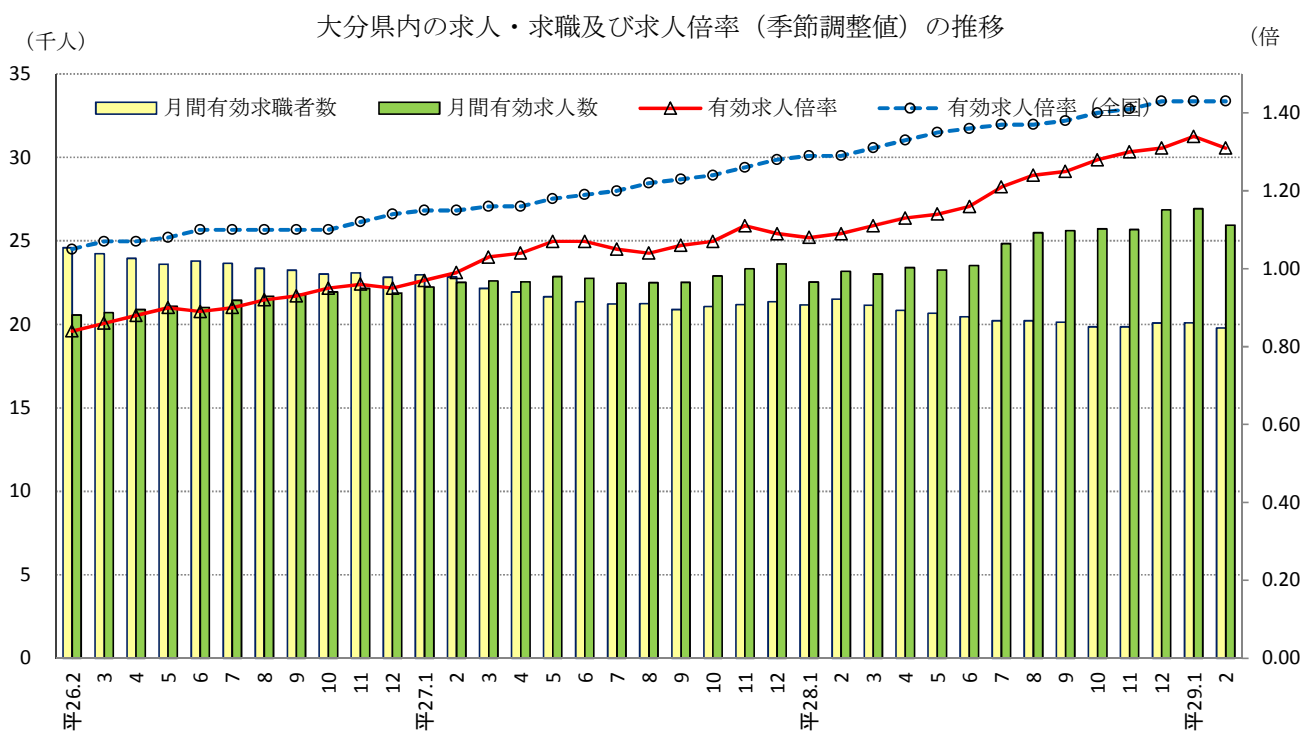
注1：新規求人倍率 = 新規求人数 ÷ 新規求職申込件数

注2：有効求人倍率 = 月間有効求人数 ÷ 月間有効求職者数

注3：「一般」において新規求人倍率・有効求人倍率は「季節調整値」、その他は「原数値」

注4：「正社員」に関する数値はすべて「原数値」

注5：正社員有効求人倍率 = 正社員有効求人数 ÷ 常用フルタイム有効求職者数



## 安定所別月間有効求人倍率の推移

(単位:倍)

(単位:%)

年度 月	大分	別府	中津	日田	佐伯	宇佐	豊後 大野	大分県 原数値	大分県	全国	完全失業率	
											大分県	全国
23	0.64	0.67	0.66	0.64	0.74	0.80	0.86	0.68	0.68	0.68	4.1	[4.6]
24	0.72	0.67	0.72	0.84	0.81	0.83	0.85	0.74	0.74	0.82	4.0	4.3
25	0.81	0.66	0.78	0.93	0.81	0.86	1.05	0.80	0.80	0.97	3.8	4.0
26	0.95	0.85	0.95	0.87	0.94	1.06	1.17	0.94	0.94	1.11	3.3	3.6
27	1.10	1.00	0.97	0.99	1.06	1.18	1.26	1.07	1.07	1.23	2.9	3.4

28.2	1.22	1.11	1.04	1.03	1.17	1.24	1.32	1.17	1.09	1.29	2.5	3.2
3	1.20	1.12	1.00	1.05	1.16	1.19	1.26	1.15	1.11	1.31		3.2
4	1.13	0.99	0.91	0.88	1.07	1.09	1.19	1.06	1.13	1.33	2.8	3.2
5	1.11	0.93	0.87	0.94	1.01	1.12	1.24	1.04	1.14	1.35		3.2
6	1.17	0.96	0.89	0.96	1.05	1.14	1.30	1.08	1.16	1.36	2.0	3.1
7	1.24	1.02	1.03	1.08	1.12	1.23	1.31	1.16	1.21	1.37		3.0
8	1.32	1.05	1.05	1.15	1.15	1.27	1.37	1.22	1.24	1.37	2.6	3.1
9	1.39	1.07	1.04	1.14	1.09	1.37	1.37	1.25	1.25	1.38		3.0
10	1.45	1.11	1.07	1.25	1.20	1.45	1.38	1.31	1.28	1.40	2.6	3.0
11	1.48	1.09	1.14	1.31	1.30	1.52	1.47	1.35	1.30	1.41		3.1
12	1.55	1.12	1.19	1.34	1.41	1.78	1.47	1.42	1.31	1.43	3.1	
29.1	1.54	1.13	1.26	1.31	1.30	1.66	1.59	1.41	1.34	1.43	/	3.0
29.2	1.51	1.20	1.29	1.34	1.31	1.63	1.59	1.42	1.31	1.43		2.8

## 九州・沖縄八県別有効求人倍率の推移

(単位:倍)

	29年2月	29年1月	28年2月	前月差 (ポイント)	前年同月差 (ポイント)
福岡県	1.39	1.40	1.24	▲ 0.01	0.15
佐賀県	1.17	1.19	1.03	▲ 0.02	0.14
長崎県	1.14	1.13	1.07	0.01	0.07
熊本県	1.47	1.49	1.19	▲ 0.02	0.28
大分県	1.31	1.34	1.09	▲ 0.03	0.22
宮崎県	1.33	1.33	1.12	0.00	0.21
鹿児島県	1.10	1.12	0.94	▲ 0.02	0.16
沖縄県	1.02	1.08	0.92	▲ 0.06	0.10
九州平均	1.27	1.29	1.11	▲ 0.02	0.16
全国	1.43	1.43	1.29	0.00	0.14

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」

注1：有効求人倍率の各年度は原数値。各月は季節調整値。なお、平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

注2：九州平均は、九州各県の有効求人数(季調値)の合計を有効求職者数(季調値)の合計で除したものの。

注3：完全失業率の推移は年。全国の月分は季節調整値。大分県の期分は、モデル推計値(総務省統計局公表)。

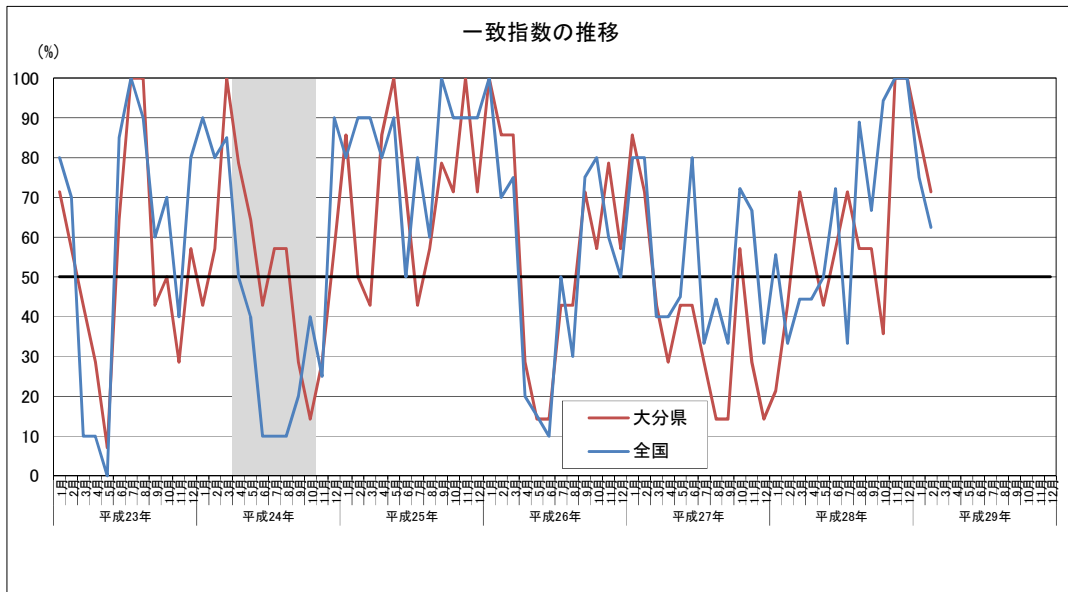
(全国の平成27年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。)

(全国の[ ]内数値は、補間推計値。)

(大分県の平成27年12月以前のモデル推計値はH28.5.31に遡及改訂されている。)

## 2-2 景気動向指数

平成 29 年 2 月分の大分県景気動向指数(DI)をみると、景気にほぼ一致して動く一致指数は 71.4% となり、4 か月連続して 50%を上回った。また、景気に対し先行して動く先行指数は 20.0%となり、8 か月ぶりに 50%を下回った。他方、景気に対し遅れて動く遅行指数は 100.0%となり、2 か月連続して 50%を上回った。



資料：内閣府経済社会総合研究所、県統計調査課

注 1：指数が 50%を上回る期間は「景気回復・拡大期」、50%を下回る期間は「景気後退期」とみる。

注 2：シャドウ部分は景気後退期（内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による）を示す。

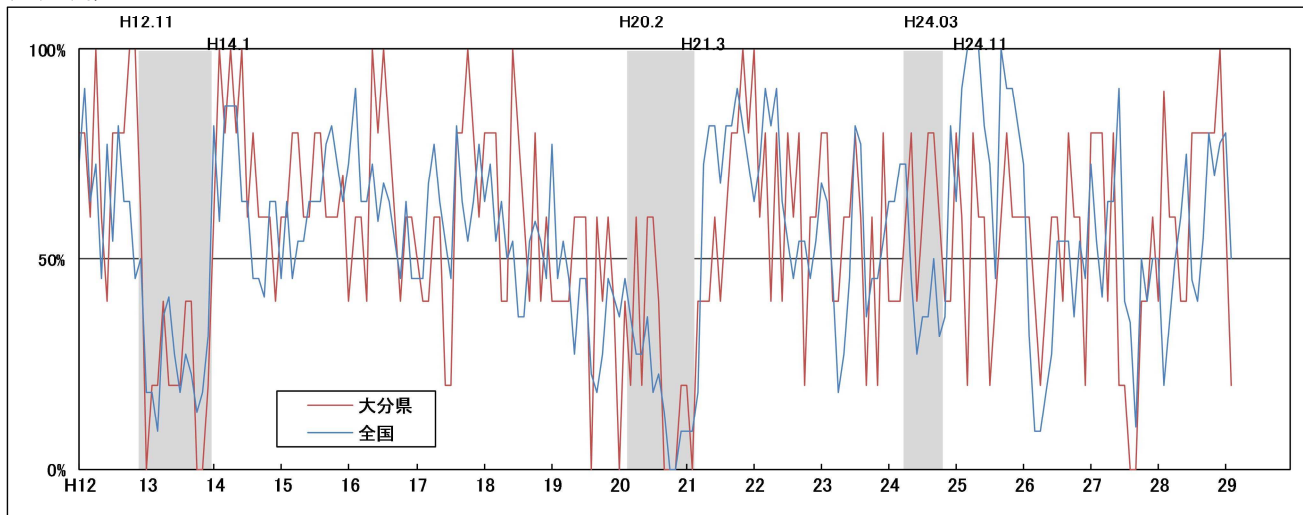
### 個別指標の動き（平成 29 年 2 月分）

プラスの指標	連続月数	マイナスの指標	連続月数
<b>先行系列</b>			
		01 新規求人数 <small>(新規学卒除きパートを含む)</small>	1
		02 生産財生産指数	2
		03 生産財在庫率(逆) <small>(出荷及び在庫指数より算出)</small>	1
		04 着工建築物床面積	2
05 日経商品指数(42 種)	8		
<b>一致系列</b>			
		01 鉱工業生産指数	1
		02 鉱工業出荷指数	1
03 所定外労働時間	4		
04 有効求人倍率	12		
05 県内新車販売台数	5		
06 県内輸入額	4		
07 雇用保険初回受給者数(逆)	1		
<b>遅行系列</b>			
01 有効求職者数(逆)	1		
02 常用雇用指数	1		
03 資本財出荷指数	2		
04 第 3 次産業活動指数	2		
05 大分市消費者物価指数	5		
06 家計消費支出	2		
07 雇用保険受給者実人員(逆)	6		

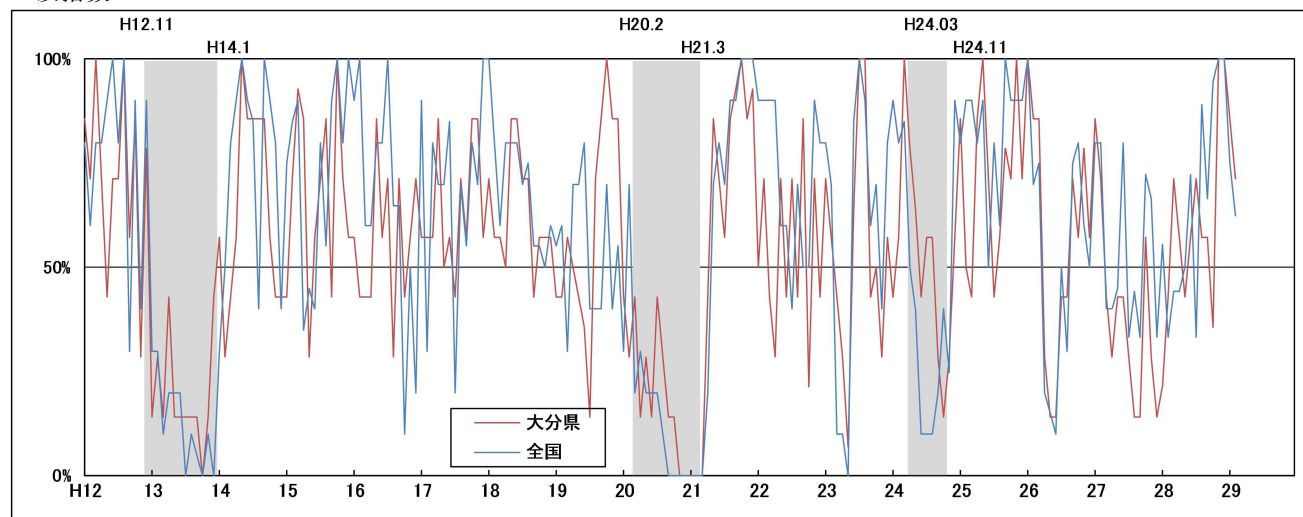
# 大分県景気動向指数（DI）の動き

平成29年 2月

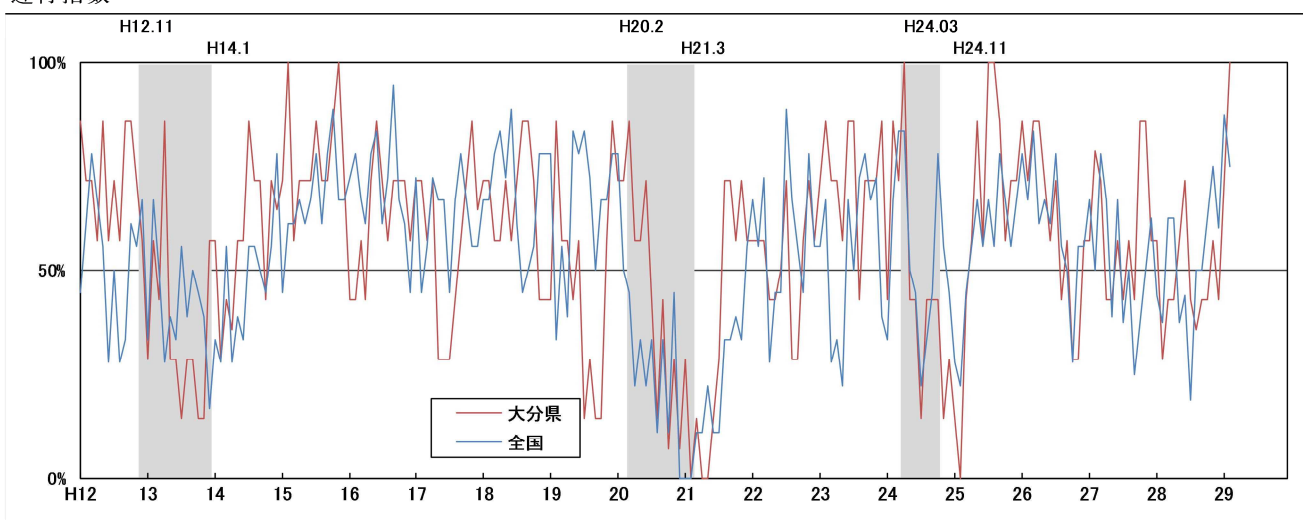
## 先行指数



## 一致指数



## 遅行指数



(注) シャドウ部分は景気後退期（内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による）を示す。

問合せ先

大分県大分市大手町3丁目1番1号（〒870-8501）

大分県企画振興部 統計調査課 統計企画班

電話：(097) 506-2462（直通）

FAX：(097) 506-1727

メール：[a10800@pref.oita.lg.jp](mailto:a10800@pref.oita.lg.jp)